

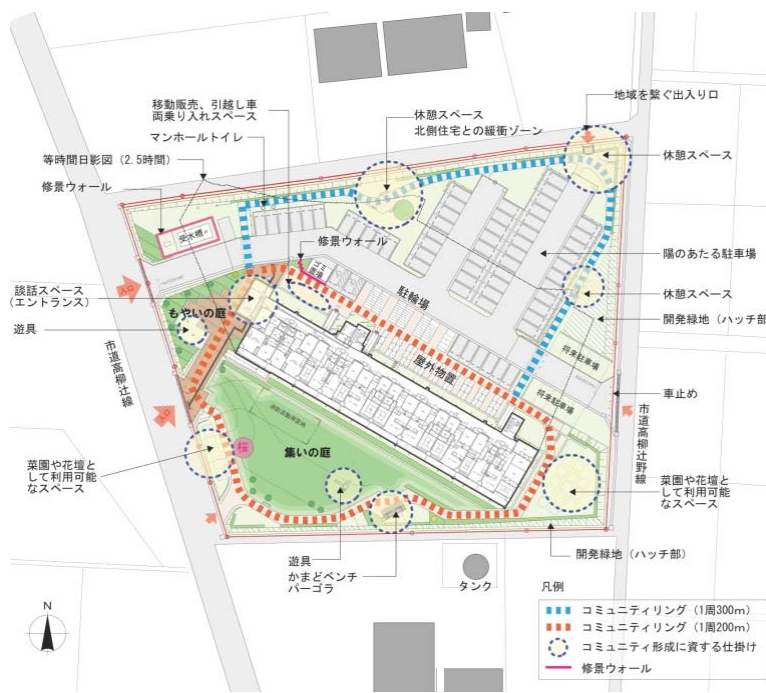
# 名取市高柳辻地区災害公営住宅

(仮称) 名取市高柳辻地区災害公営住宅基本設計等業務

UR都市機構 宮城・福島災害復興支援本部

## ■業務概要・技術的特徴

H23年3月に発生した東日本大震災による被災者のため、市は高柳辻地区に用地を確保し建設計画に取り組んだ。当該地区は、冬場の北西の風を防ぐイグネ（屋敷林）を配した住宅が点在する田園地帯の中に位置し、遠くには蔵王連峰を望むことができる。本業務では、名取市災害公営住宅整備計画に掲げる目標に基づき、周辺環境やコミュニティ形成に配慮した災害公営住宅の設計を行った。



## ■計画の特徴

- 地域社会と連携した地域が持続的に成長する「すまい」
  - ・市道沿いにオープンスペースを配置
  - ・気候風土、近隣に配慮した住棟配置計画
  - ・周辺に配慮した駐車場の配置計画 など
- 多様な世代がつながり絆を感じる「すまい」
  - ・地域を結ぶゲートの整備(もやいの庭、談話スペース)
  - ・地域と共有する広場の整備 (集いの庭)
  - ・散歩道の整備(コミュニティリング)など
- 安全で安心してくらせる「すまい」
  - ・防災機能整備(かまどベンチ、マンホールトイレ)
  - ・従前より高く宅盤を整備 (約50cm増)



## ■計画概要

所在地：宮城県名取市  
 用途：共同住宅  
 階数：5階  
 戸数：50戸  
 構造：RC造  
 高さ：15.95m  
 敷地面積：6900.25㎡  
 建築面積：989.36㎡  
 建蔽率：14.33%  
 延床面積：3391.45㎡  
 容積率：149.14%  
 竣工：H29年6月

